

公告 昭 38.11.19 出願 昭 34.3.28 実願 昭 34-17512  
考 案 者 柳 沢 明 東京都足立区梅島町1 栗林写真  
工業株式会社内  
出 願 人 栗 林 敏 夫 東京都足立区梅島町1

(全2頁)

## プリセット絞り装置における絞りF値指示装置

## 図 面 の 略 解

第1図は絞り羽根全開時のプリセットリング示標位置を示す平面図、第2図は絞りリングにセットされただけ絞り羽根が絞り込まれた状態時のプリセットリング示標位置を示す平面図、第3図は絞りリングおよびプリセットリングの回動制御装置要部断面図、第4図は同上平面図、第5図はヘリコイド外筒側面図、第6図は略例平面図。

## 実 用 新 案 の 説 明

本案は一眼レフカメラ用プリセット絞り装置における絞りF値指示装置に関するものですでに公知の作用をなすプリセット絞り機構のように、フランジネジ1を有するヘリコイド外筒2の段部3に絞りリング4がプリセットリング5により回動自在に狭着され、該絞りリング4の切欠面6はヘリコイド外筒に植着された突起7と衝合し絞りリング4の回動は制御される。

ヘリコイド外筒2に設けた孔8に嵌入されバネ9の押圧により一部を露頭する球10は絞りリング4を回動して絞り目盛群11が深度リング上の主示標12に合致したとき孔13に嵌入してクリック作用をなして絞りリング4を位置づける。

ヘリコイド外筒2の溝部14には滑りリング15が嵌入しこれに固着し示標16, 17を有するプリセットリング5が回動自在に装着されており滑りリング15にはヘリコイド外筒2の透孔18より臨んで公知の絞り機構を作動せしめる作動片(図示せず)が固着されている。

プリセットリング5に植着された突起19は絞りリング4欠切部6および突起7と衝合しプリセットリング5の回動によつて絞り羽根を全開および任意の絞りF値を得るべく回動を制御される。また20は指掛突起である。

以上のような機構をなす本案を実施例について説明すると絞りリング4に刻まれた希望する絞りF値目盛を主示標12に合致すると孔13に嵌入する球10によるクリック作用でセットされる。プリセットリング5を回動して突起19がヘリコイド外筒2に植着した突起7と衝合したとき第1図に図示するごとく絞りリング4上の示標16は主示標12と合致し作動片により絞り機構を作動し羽根を全開の状態にせしめまた絞りリング4を逆回動して絞りリング4の切欠面6がヘリコイド外筒2の突起7と衝合するとき第2図に示すごとくプリセットリング5上の示標17と絞りリング示標17'は合致し主示標12の示す絞りF値を得るものである。

従来まで一眼レフカメラ用のプリセット絞り装置にはプリセットリングが開放の状態か希望する絞り状態にあるかを示す鮮明な指示装置がなく第6図のごとき同一F値数字を絞りリングおよびプリセットリングに重複して彫刻せしめていたものであるが非常に紛ぎらわしき為め判読が困難であり撮影上の不手業を起すこともあつたが、本案によれば彫刻文字の削減と共に鮮明に彫刻された示標を合致せしめる容易な操作でもつて必要な機能を満足させると共に常に絞りリングの絞り状態を視読出来確実な撮影をなす利点がある。

## 登 録 請 求 の 範 囲

絞りリング4とプリセットリング5の任意の円周上に該プリセットリング5の絞り込み操作の回動終止点において合致する分割示標17, 17'を設けさらに主示標12と合致して絞り全開時を明示する示標16をプリセットリング5の円周上に設定せる事を特徴とするプリセット絞り装置における絞りF値指示装置。

図 1

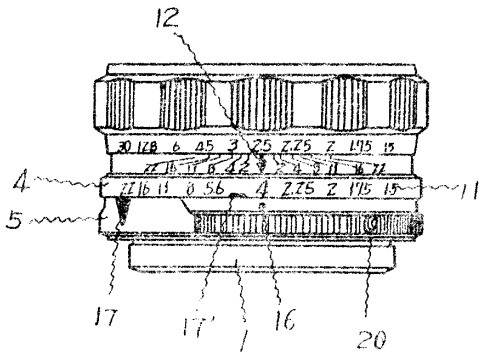


図 3

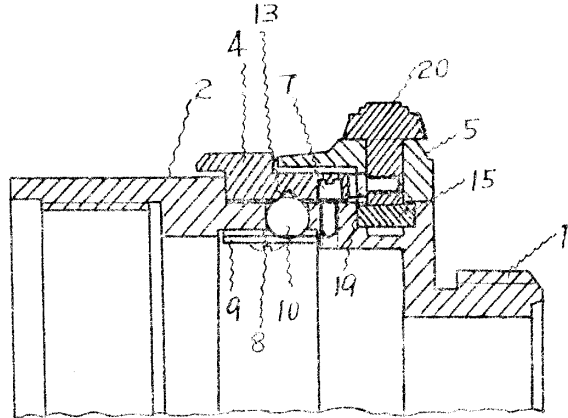


図 2

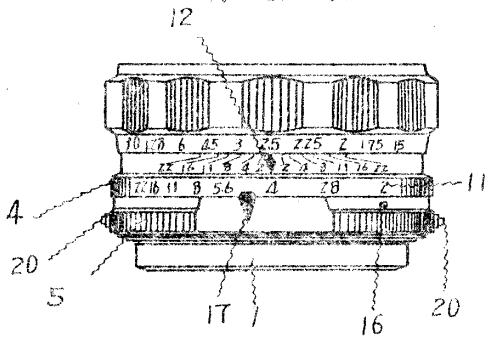


図 4

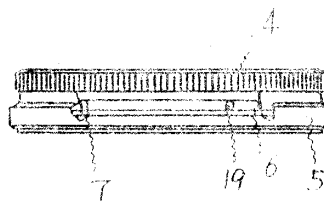


図 5

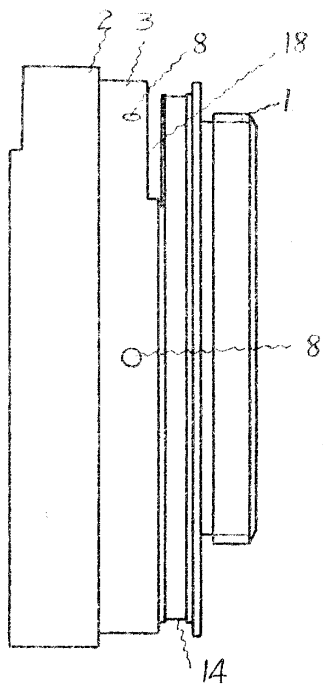


図 6

